

脳血管内治療のための管腔脳血管3Dモデルの支持部材

脳卒中血管内科学 黒川 暢

利用分野

本技術は術前シミュレーションにより適切なデバイス選択と治療計画を可能にし、手術・麻酔・被曝時間の短縮、医療費削減に寄与する。くわえて、あらたに開発する医療デバイスの試作評価にも有用である。

シーズ

脳血管等の血管モデルであって、flexible系の柔らかい3次元構造物の立体構造を維持するために、板状部材の鉛直方向に取り付けられて血管モデルを支持するための柱部材である。本部材を用いることで、血管3Dモデルを卓上で使用することで客観的なワーキングアングルを作成し、より簡便に血管内治療シミュレーションを行うことができる。



ニーズ

近年、3次元プリンタ技術の進歩により比較的安価に一定のパフォーマンスの血管モデルが作成できるようになっている。しかしながら、血管モデルなどflexible系の柔らかい造形物については十分なサポート材がないと平面上に立体構造を維持することができず、血管内治療シミュレーションには不適であった。

連携分野

医療シミュレーション企業または3Dプリンタ出力企業との連携によるオンデマンド脳血管3Dモデルの作製サービスの展開。

知財保護

特願2025-090724(未公開)



血管3Dモデルの立体構造が平面上で確認できる。



本学マスコットキャラクター
ラマディー